

令和2年度福島県立図書館協議会次第

日時 令和2年12月11日(金)

午後1時30分から

場所 県立図書館 第1研修室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 議事録署名人の選出

(2) 報告事項

① 令和2年度図書館利用実績について

資料1

② 図書館システムの更新について

資料2

(3) 協議事項

① 「福島県立図書館アクションプラン(第3次)」の取組について

資料3

② 「福島県立図書館アクションプラン(第4次)」の策定について

資料4

(4) その他

4 閉 会

令和2年度福島県立図書館協議会出席者名簿

	氏名	所属団体等（主な役職名等）
協議会委員	佐藤 佐敏（会長）	福島大学（人間発達文化学類 教授）
	佐藤 秀美（副会長）	福島県高等学校長協会（福島県立いわき光洋高等学校長）
	佐藤 克也	株式会社島民報社（編集局次長）
	小野 広司	福島民友新聞社株式会社（執行役員編集局長）
	三瓶 真二	公募
	森岡 こう	公募
	高橋 明子	福島県家庭教育インストラクター連絡協議会（喜多方市教育委員会教育委員）
	須藤 薫	福島県公共図書館協会（喜多方市立図書館長）
	志村 充代	福島県中学校長会（郡山市立明健中学校長）
社会教育課	新井 里美	主幹兼副課長
	十二所 倫子	主任主査
	小野 健太	主事
図書館	齋野 和則	館長
	島田 淳	副館長
	佐々木 加奈子	企画管理部長
	佐藤 加与子	資料情報サービス部長
	鈴木 史穂	専門司書（企画協力担当）
	吉田 和紀	専門司書（一般資料チーム）
	加藤 麻依子	主任司書（地域資料チーム）
	橋本 栄理子	主任司書（逐次刊行資料チーム）

資料1-1

令和2年度 福島県立図書館協議会資料

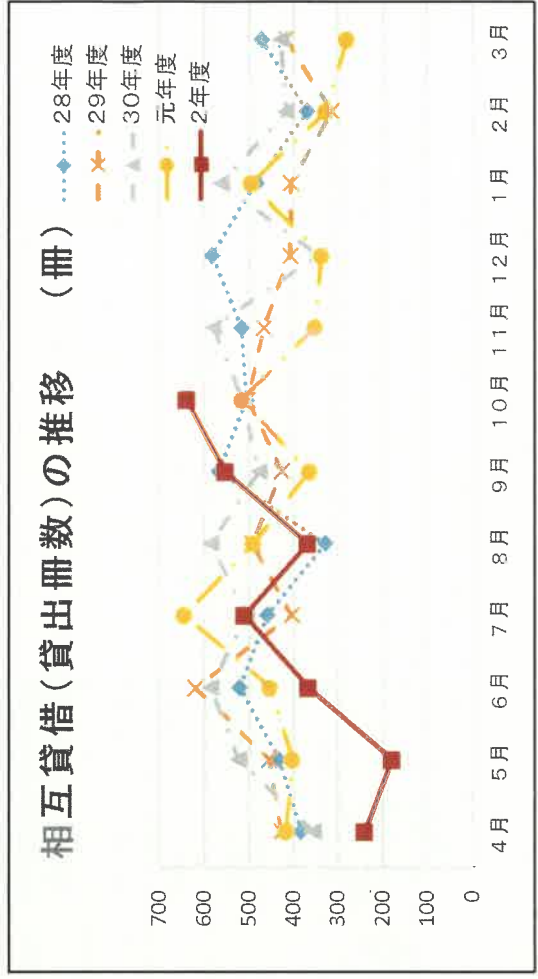
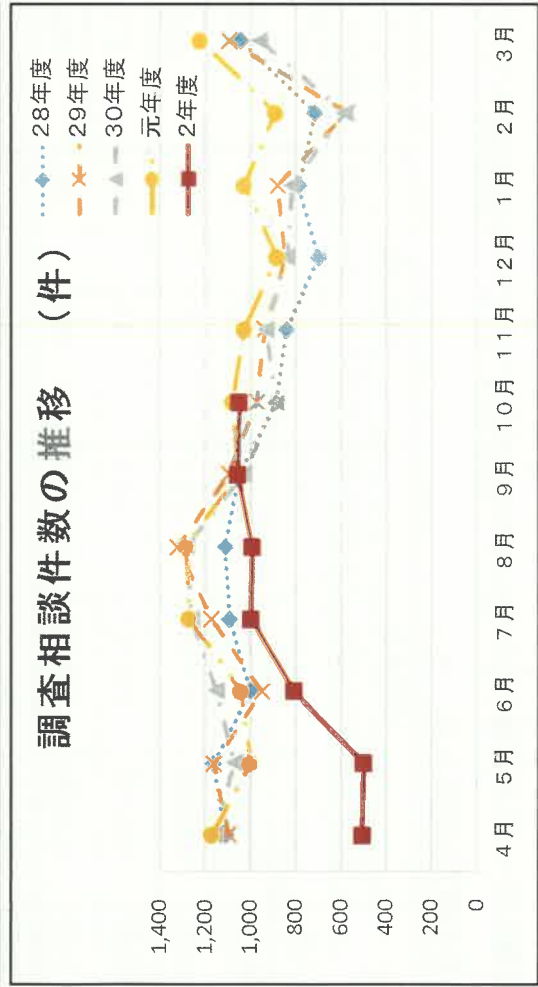
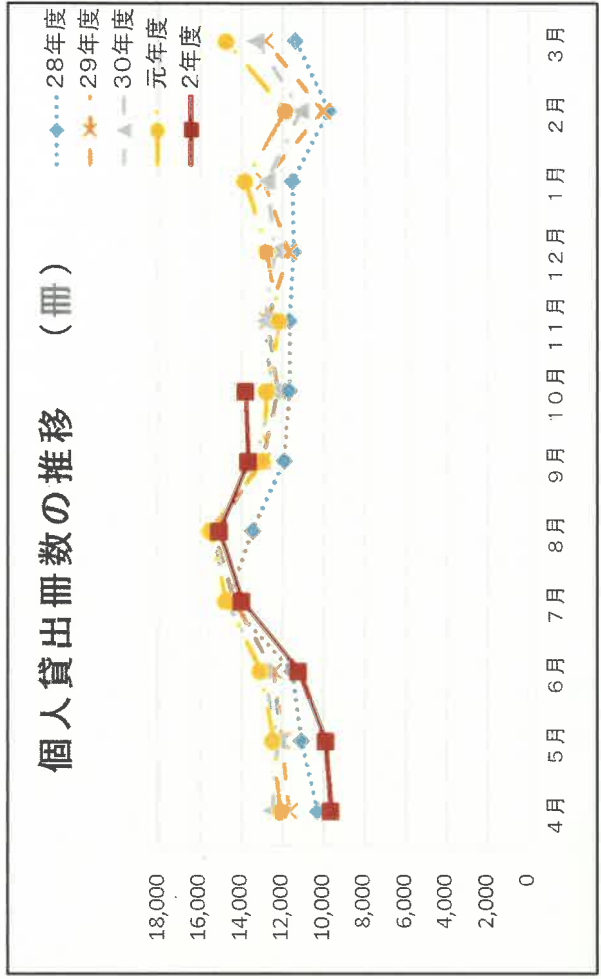
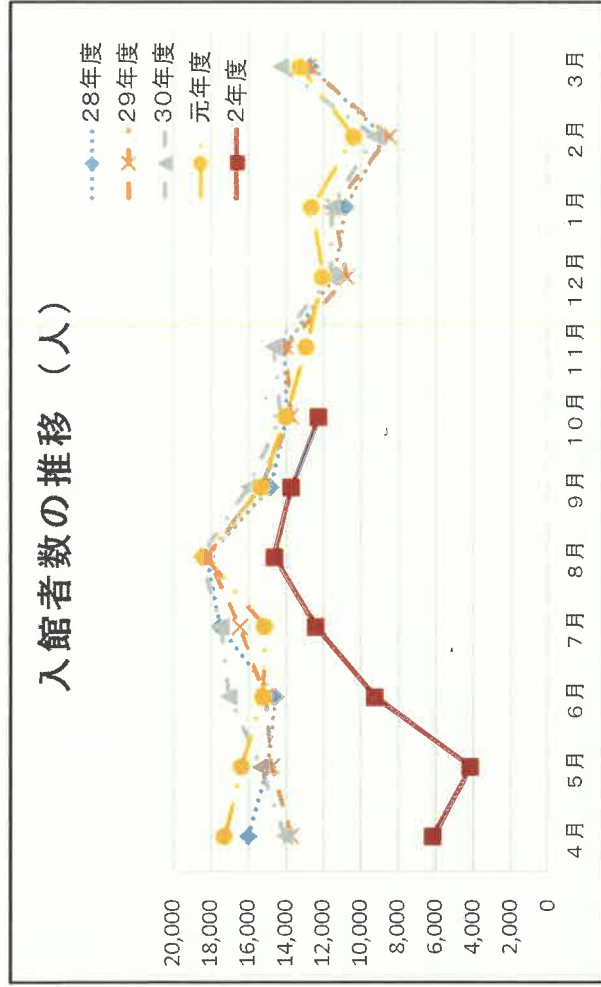
R2.12.11

図書館利用実績

福島県立図書館

平成28～令和2年度月別(4～10月)利用状況

令和2年10月末現在



令和2年度 図書館利用実績【4月～10月】

1 各年度4月～10月計及び対平成28年度同期比(平成28年度実績=100)

(1) 入館者数及び開館日数

(単位:人・%・日)

区分	入館者数		平成28年度同期比	開館日数		一日当たり入館者数		
	年度合計	4～10月計		年度合計	4～10月計	年度合計	4～10月計	平成28年度同期比
令和2年度		72,311	65.7		155		467	74.7
令和元年度	172,464	111,376	101.3	286	177	603	629	100.6
平成30年度	174,034	112,643	102.4	286	176	609	640	102.4
平成29年度	164,502	107,147	97.4	288	177	571	605	96.8
平成28年度	167,650	109,994	100.0	285	176	588	625	100.0
平成22年度	232,133	164,262		269		863	923	

※ 平成22年度は、東日本大震災による被災のため3月12日から3月31日まで休館した。

こどものへや入館者数(再掲)

(単位:人・%)

区分	入館者数		平成28年度同期比	一日当たり入館者数		
	年度合計	4～10月計		年度合計	4～10月計	平成28年度同期比
令和2年度		24,168	64.8		156	73.6
令和元年度	55,762	35,711	95.7	194	202	95.3
平成30年度	55,116	35,694	95.6	193	203	95.8
平成29年度	54,748	35,181	94.3	191	199	93.9
平成28年度	56,484	37,323	100.0	197	212	100.0
平成22年度	78,204	54,429		291	306	

(2) 登録者数

(単位:人・%)

区分	新規			更新			合計		
	年度合計	4～10月計	平成28年度同期比	年度合計	4～10月計	平成28年度同期比	年度合計	4～10月計	平成28年度同期比
令和2年度		1,788	83.4		741	80.0		2,529	82.4
令和元年度	3,104	2,084	97.2	1,474	966	104.3	4,578	3,050	99.3
平成30年度	3,128	2,158	100.7	1,530	1,014	109.5	4,658	3,172	103.3
平成29年度	3,169	2,117	98.7	1,408	892	96.3	4,577	3,009	98.0
平成28年度	3,130	2,144	100.0	1,459	926	100.0	4,589	3,070	100.0
平成22年度	4,171	2,992		1,831	1,314		6,002	4,306	

(3) 貸出利用者数

(単位:人・%)

区分	貸出利用者数		
	年度合計	4～10月計	平成28年度同期比
令和2年度		21,388	91.7
令和元年度	41,712	24,844	106.5
平成30年度	41,513	25,307	108.5
平成29年度	39,979	24,429	104.7
平成28年度	38,237	23,333	100.0
平成22年度	50,457	33,783	

(4) 貸出冊数

(単位:冊・%)

区分	平成22年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	年度合計	4~10月計	年度合計	4~10月計	年度合計	4~10月計	年度合計	4~10月計	年度合計	4~10月計	4~10月計	平成28年度 同期比	
総記	2,331	1,586	1,993	1,073	2,026	1,177	2,404	1,390	2,624	1,532	1,484	142.8	138.3
哲学宗教	5,976	3,913	4,046	2,448	4,451	2,543	4,718	2,865	4,566	2,598	2,751	106.1	112.4
歴史地理	9,470	6,093	6,387	3,633	7,399	4,338	7,616	4,395	8,057	4,876	4,545	134.2	125.1
社会科学	15,872	10,372	10,475	6,235	11,626	6,795	11,461	6,431	12,629	7,265	7,476	116.5	119.9
自然科学	9,791	6,655	6,832	4,148	7,151	4,356	7,335	4,298	7,925	4,514	5,038	108.8	121.5
工学工業	9,152	6,128	6,123	3,456	6,571	3,819	7,216	4,139	7,941	4,599	3,823	133.1	110.6
産業	5,569	3,811	3,432	1,994	3,584	2,220	3,663	2,198	4,107	2,474	2,175	124.1	109.1
芸術	10,150	6,901	7,983	4,720	7,937	4,658	8,308	4,794	8,123	4,748	4,775	100.6	101.2
語学	1,925	1,205	1,106	601	1,206	637	1,310	835	1,362	782	727	130.1	121.0
文学	25,305	16,993	19,464	11,393	21,337	12,566	21,619	12,755	21,606	12,977	12,567	113.9	110.3
地域資料	7,601	5,112	7,884	4,695	8,054	4,885	8,305	4,894	7,568	4,548	4,361	96.9	92.9
新聞雑誌	10,137	6,401	7,715	4,544	7,316	4,368	7,549	4,528	7,487	4,396	4,157	96.7	91.5
小計	113,279	75,170	83,440	48,940	88,658	52,362	91,504	53,522	93,995	55,309	53,879	113.0	110.1
児童	74,384	49,749	56,597	35,494	62,041	38,363	64,046	39,792	64,369	37,977	33,089	107.0	93.2
合計	187,663	124,919	140,037	84,434	150,699	90,725	155,550	93,314	158,364	93,286	86,968	110.5	103.0

(5) 調査相談件数

(単位:件・%)

区分	一般		児童		合計	
	年度合計	4~10月計	年度合計	4~10月計	年度合計	4~10月計
令和2年度		4,776		1,120		5,896
令和元年度	9,304	5,721	3,634	2,172	12,938	7,893
平成30年度	8,572	5,515	3,377	2,315	11,949	7,830
平成29年度	8,916	5,751	3,158	2,004	12,074	7,755
平成28年度	8,605	5,447	2,868	1,952	11,473	7,399
平成22年度	10,893	7,284	1,698	1,205	12,591	8,489
		87.7				57.4
		105.0				111.3
		101.2				118.6
		105.6				102.7
		100.0				100.0

(6) インターネット端末の利用状況

(単位:人・%)

区分	一般		児童		合計	
	年度合計	4~10月計	年度合計	4~10月計	年度合計	4~10月計
令和2年度		1,477		0		1,477
令和元年度	5,276	3,457	27	18	5,303	3,475
平成30年度	6,181	3,909	29	18	6,210	3,927
平成29年度	6,023	3,867	44	27	6,067	3,894
平成28年度	6,539	4,136	64	45	6,603	4,181
平成22年度	8,824	6,283	325	233	9,149	6,516
		35.7				0.0
		83.6				40.0
		94.5				40.0
		93.5				60.0
		100.0				100.0

(7) 相互貸借(図書館間の貸借)

(単位:件・冊・%)

区分	平成22年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	年度合計	4~10月計	年度合計	4~10月計	年度合計	4~10月計	年度合計	4~10月計	年度合計	4~10月計	年度合計	4~10月計
県内分												
貸出件数	1,102	701	1,094	654	1,041	611	1,035	615	1,029	648	532	81.3
貸出冊数	5,736	3,912	4,955	2,767	4,538	2,824	5,171	3,134	4,386	2,837	2,528	91.4
借用件数	127	75	96	66	116	72	133	87	149	90	143	216.7
借用冊数	169	101	130	89	138	88	178	109	249	135	337	378.7
県外分												
貸出件数	506	315	392	261	493	301	456	260	409	271	206	78.9
貸出冊数	783	467	660	427	791	498	703	411	685	446	325	76.1
借用件数	107	69	57	30	69	43	78	46	73	43	67	223.3
借用冊数	135	83	74	42	88	51	90	52	111	62	79	188.1
総合計												
貸出件数	1,608	1,016	1,486	915	1,534	912	1,491	875	1,438	919	738	80.7
貸出冊数	6,519	4,379	5,615	3,194	5,329	3,322	5,874	3,545	5,071	3,283	2,853	89.3
借用件数	234	144	153	96	185	115	211	133	222	133	210	218.8
借用冊数	304	184	204	131	226	139	268	161	360	197	416	317.6

(8) 資料宅配サービス利用状況

(単位:件・%・冊)

区分	件数		年度合計	平成28年度同期比	冊数		平成28年度同期比
	年度合計	4~10月計			4~10月計	年度合計	
令和2年度	24	126.3	99	67.8			
令和元年度	11	52.6	46	31.5			
平成30年度	17	52.6	50	34.2			
平成29年度	23	78.9	91	62.3			
平成28年度	31	100.0	146	100.0			

※資料宅配サービスは、平成22年6月からサービス対象地域を相双・会津地域と限定してスタートし、その後、平成23年7月からサービス対象地域を福島県内とした。

2 年度計

(1) 新聞記事閲覧システム利用状況 (単位:件・%)

区分	件数	平成28年度同期比
令和元年度	388	110.9
平成30年度	396	113.1
平成29年度	396	113.1
平成28年度	350	100.0

※平成24年度6月より供用開始した。

(2) 遠隔地返却冊数 (単位:冊・%)

区分	冊数	平成28年度同期比
令和元年度	7,212	110.1
平成30年度	7,578	115.7
平成29年度	6,865	104.8
平成28年度	6,551	100.0
平成22年度	6,794	104.8

※利用者が来館し、直接貸出しを受けた資料を県内公立図書館に返却した冊数。

(3) 受取館指定サービス利用状況 (単位:件・冊)

区分	件数	冊数
令和元年度	361	1,169
平成30年度	396	1,134
平成29年度	223	736

※平成29年3月より試行実施し、7月より正式にサービスを開始した。平成29年度は7月から3月までの実績。

(4) ホームページアクセス件数

(単位:件・%)

区分	実績値				平成28年度同期比					
	トップページ	蔵書検索	横断検索	デジタルライブラリー	こどものへや	トップページ	蔵書検索	横断検索	デジタルライブラリー	こどものへや
令和元年度	334,534	786,099	530,959	5,315	2,728	171.7	154.0	134.0	113.6	78.4
平成30年度	317,481	655,110	501,635	5,036	2,651	162.9	128.3	126.6	107.7	76.2
平成29年度	270,257	529,594	374,626	3,880	3,383	138.7	103.7	94.6	83.0	97.2
平成28年度	194,853	510,541	396,175	4,677	3,480	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
平成22年度	171,916	174,859	113,701	5,055	3,885					

(5) 移動図書館(あづま号)貸出冊数(単位:冊・%)

区分	冊数	平成28年度同期比
令和元年度	28,380	123.3
平成30年度	26,786	116.3
平成29年度	23,506	102.1
平成28年度	23,026	100.0
平成22年度	31,312	

(6) 市町村・学校への協力支援貸出冊数(単位:冊・%)

区分	冊数	平成28年度同期比
令和元年度	8,496	129.5
平成30年度	10,512	160.2
平成29年度	11,232	171.1
平成28年度	6,563	100.0
平成22年度	14,908	

新型コロナウイルス感染拡大防止に関する取組について

I 来館利用者対応

(1) 来館サービス

- 休館 (4/19(日)~5/15(金) 27日間)
- 貸出冊数・期間の拡大 (4/3(金)~6/3(水)):一人 10冊 15日間 ⇒ 20冊 30日間
- 返却ポストの 24 時間開放 (3/6(金)~現在まで)
- 休館期間中に返却日が到来する資料は開館後 1 週間まで利用延長

(2) 館内利用

- 利用席の制限 (間引き) 📷
 - インターネット等機器利用の制限 (間引き・延長不可) 📷
- ⇒再開館後、徐々に解除しながら実施



1 席ずつ間を置いた新聞閲覧席 (4/3~10/1)



立って利用できる短時間利用のインターネット端末 (6/5~)

(3) 利用者の皆様へのお願い (3月6日(金)~)

- マスク着用をお願いします
- 入館の際は、手指消毒を行ってください
- 館内での長時間の滞在はお控えください

(4) 施設内の対応

- 各カウンターに透明ビニールカーテンを設置
- 各カウンターに並ぶ際に 2メートル間隔のライン設置 📷
- 職員はマスク着用・手指消毒・手洗いの励行
- 館内の換気とカウンター等の消毒 図書除菌機の設置 (11月20日(金)~) 📷
- 返却資料の消毒または 24 時間取り置き 📷 📷
- 事業の休止 (3~6月) 「行事ガイドライン」の作成



2メートル間隔のラインに立って待つ利用者



雑誌最新号のビニールカバーを消毒中



消毒できない資料の取り置き

2 県内図書館対応

- (1) 県内図書館の動向調査と情報提供 21回
- (2) 県内図書館からの運営相談対応
- (3) 協力車・あづま号巡回日程の変更

3 来館せずに利用できるサービス(前年度同月比)

サービス内容	令和元年度 10月末	令和2年度 10月末
郵送による利用登録	9件	27件
資料宅配サービス	10件 50冊	24件 99冊
受取館指定サービス	209件 729冊	263件 993冊
非来館調査相談	1,016件	1,811件
遠隔複写	97件 822枚	129件 3,625枚

図書館システム更新について

1. 新・図書館システムでの変更点

- (1) 横断検索の検索結果表示が速くなります。
- (2) ホームページをだれでも利用しやすいデザイン、レイアウトにします。
- (3) ホームページの蔵書検索結果画面からデジタル資料へアクセスしやすくなります。
- (4) 探している本をイメージしやすくするために、蔵書検索の結果に書影（本の表紙画像）が表示されるようになります。

2. 図書館システム更新（及びエレベーター工事）に伴う休館について

【休館する期間】 令和 2 年 12 月 28 日から令和 3 年 1 月 7 日

3. ホームページのリニューアルについて

(1) Web サービスの休止について

令和 3 年 1 月から福島県立図書館のホームページをリニューアルします。
ホームページの切替作業のため、次の期間 Web サービスを休止します。

【Web サービスの休止期間】

令和 2 年 12 月 28 日から令和 3 年 1 月 5 日午前（予定）

※休止期間は、ホームページの閲覧、蔵書検索、予約などのサービスが
使用できません。

(2) 図書館ホームページ URL の変更

令和 3 年 1 月から図書館ホームページの URL を変更します。

【新 URL】 <https://www.library.fcs.ed.jp/>

アクションプラン（第3次）指標

指標	プラン策定時の基準値	目標値	現況値	傾向の評価
①年間貸出総冊数	平成28年度 176,296冊 平成28年度9月末現在 92,357冊	増加を 目指します	令和元年度 201,181冊 令和2年度9月末現在 88,746冊	【令和元年度】 来館者数は前年度より減少していますが、貸出は増加しています。 【令和2年度】 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、貸出制限の緩和（10冊15日間→20冊30日間）を行いました。来館による個人貸出は減少しています。県内図書館を窓口とした受取館指定サービスや、図書館未設置町村を対象とするあづま号の貸出も増加していることから、滞在型のサービスのサービスマイルに換えて県立図書館に来館せずに利用するケースが増えているものと思われれます。
②年間レファレンス件数	平成28年度 11,473件 平成28年度9月末現在 6,512件	12,600件	令和元年度 12,938件 令和2年度9月末現在 4,848件	【令和元年度】 レファレンス件数は目標値を超えることができました。 【令和2年度】 新型コロナウイルス感染対策としての臨時休館もあったことから、令和2年度の総数は減少しています。9月～10月は前年度規模に戻りつつあります。非来館でのレファレンス（電話、文書、FAX、電子メール）が増加しています。
③学校図書館活動支援セット貸出実績	平成28年度 18件54セット 平成28年度9月末現在 14件36セット	30件120セット	令和元年度 17件74セット 令和2年度9月末現在 5件13セット	【令和元年度】 「学校図書館活動支援セット」は学習指導要領に合わせて新しく4セット増やしましたが、セット内容についてのニーズが変化しているため貸出利用件数は減少となりました。 【令和2年度】 学校では新型コロナウイルスによる臨時休校期間があったこともあり、授業時間確保のため調べ学習用のセットの要望が目標を大きく下回っています。福島県教育センターの意見を聴きながら、より使いやすい新セットの作成とセット貸出の運用について検討しています。
④児童資料館外個人貸出冊数	平成28年度 56,597冊 平成28年度9月末現在 30,809冊	増加を 目指します	令和元年度 64,369冊 令和2年度9月末現在 27,589冊	【令和元年度】 企画展示、ブックガイド、おはなしかい等による本の紹介、見学の受け入れにより図書館の紹介等により「児童資料館外個人貸出冊数」は、増加傾向にありました。 【令和2年度】 基準値に対し90%の達成率となっています。貸出制限の緩和を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響で子ども来の館利用が控えられたと考えられます。対面によらないTwitterなどを積極的に活用して本の紹介をしています。
⑤協力貸出冊数	平成28年度 4,955冊 平成28年度9月末現在 2,320冊	増加を 目指します	令和元年度 4,386冊 令和2年度9月末現在 1,943冊	【令和元年度】 県内図書館への「協力貸出冊数」は減少していますが、県立図書館を介した県内図書館間の相互貸借は大幅に増加しました。 【令和2年度】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、県内各図書館でも休館していた期間があり、協力貸出の冊数が減少しましたが、県内図書館間では協力軍等の県立図書館物流ネットワークを活用した相互貸借が活発になっていきます。

福島県立図書館アクションプラン（第3次） 令和元年度実施事業結果報告シート
（令和元年度）

(1) 「県民のための図書館」であるために

ア 県民の知りたい情報ニーズに応えます

【県民のニーズに照らした多面的資料の収集と提供を行います】

1 県民のニーズに照らした多面的な資料の計画的な収集	
(1) 偏りの無い蔵書構成と多面的な資料の収集 <ul style="list-style-type: none"> 「福島県立図書館資料基本要綱IV資料別収集方針」（以下「収集方針」という。）に基づき、資料収集調査委員会で、特定の分野に偏らないバランスの良い選書に努め、計画的に資料を購入した。 リクエスト制度により県民各世代のニーズに応えた。(104冊) 	
(2) 出版情報の迅速な入手 <ul style="list-style-type: none"> 出版社からの情報のほか、新聞・雑誌等の掲載情報を確認し選書に反映させた。 	
2 市町村立図書館を支えるための資料収集	
(1) 地域づくりや町おこし、6次化等地域活性化のための資料収集に努めた。	
(2) 基本図書・全集・参考図書など市町村のバックアップ資料を収集した。	
(3) 市町村からの購入リクエストに応じた。(8件32冊) (館外資料6件30冊を含む)	
3 県民の暮らしに役立つ資料の充実を図るため「県民の暮らし応援文庫」の充実	
(1) 福島テレビ(株) (10万円・8月) 全テーマ (54冊)	
(2) 一般財団法人ふくしま未来研究会 (100万円・9月) 全テーマ (522冊)	
(3) 福島ヤクルト販売(株) (5万円・12月) 全テーマ (30冊)	
(4) 大槻電設工業(株) (10万円・2月) 育児活動支援 (59冊)	
(5) 福島発電(株) (20万円・3月) 全テーマ (115冊)	
指標 ①	【年間貸出総冊数】 (基準値：平成28年度 176,296冊)
	*令和元年度 201,181冊 (参考) 平成30年度 199,155冊 平成29年度 191,329冊

【レファレンス機能の充実を図ります】

1 レファレンス資料の充実	
(1) 収集方針に基づき資料収集調査委員会で計画的にレファレンス資料を購入した。	
2 レファレンス環境の整備	
(1) パスファインダーの新規作成と更新に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> 「福島県優良書籍」(新規) 発行(4月5日) 「アートに触れるレオナルド・ダ・ヴィンチとルネサンスの巨匠たち」(新規) 発行(7月2日) 「地域の出版文化を支える 福島民報出版文化賞」(更新) 発行(7月30日) 「これからの社会を考える：環境問題を考える」(更新) 発行(10月8日) 「平成」を振り返る」(更新) 発行(11月6日) 「便利な新聞・雑誌記事のデータベース」(更新) 発行(11月8日) 「平成」をふりかえり、「令和」にいかす。(新規) 発行(12月5日) 「再生可能エネルギーを知る」(新規) 発行(12月20日) 「個人資産の運用に役立てよう」(更新) 発行(1月16日) 「独立・創業にむけて」(更新) 発行(1月18日) 「21世紀・これからの社会を考える「医療問題」を考える」(更新) 発行(1月22日) 「手紙・スピーチでうまく気持ちを表現したい。」(更新) 発行(1月29日) 「アウトドアを楽しもう」(更新) 発行(3月25日) 「ふくしまの城」(新規) 発行(3月27日) 	
(2) 各種データベースの充実に努めている。 <ul style="list-style-type: none"> 地元新聞データベースの記事検索内容の充実(データの追加作成)と校正作業を実施した。(20,666件) 「聞蔵Ⅱビジュアル(朝日新聞データベース)」を導入した。 	

3 司書のレファレンス技術の向上

- (1) レファレンス記録の保存についてのマニュアルを作成した。
- (2) 定期的に館内研修を実施している。
 - ・本年度に利用を開始したDB「聞蔵Ⅱビジュアル」についての職員向けの研修を実施した。(4月)
 - ・県立図書館初任者を対象にした「調査・相談カウンター業務」についての研修を実施した。(6月)
 - ・地域資料に関するレファレンスミニ研修の実施した。(1月)
 - ・国立国会図書館交換研修生による研修を実施した。(2月)
 - ・児童資料チームにおいて、読み聞かせとブックトークの研修を行事ごとに実施した。(42回)

指標 ②	【年間レファレンス件数】 (基準値：平成28年度 11,473件)	*令和元年度 12,938件 (参考)平成30年度 11,949件 平成29年度 12,074件
---------	--------------------------------------	--

【大学図書館等研究機関と連携し、専門的資料(情報)を提供します】

1 「福島県内大学図書館連絡協議会」での連携強化(相互貸借の促進)

- (1) 日本大学工学部で開催された、同連絡協議会の総会に職員を派遣した。(7月25日)
- (2) 奥羽大学で開催された、同連絡協議会の研修会に職員を派遣した。(11月26日)

2 「ふくふくネット」の促進

- (1) 計画に基づいた連絡車(県立図書館・福島大学)の運行及び資料の貸出・返却を行った。

3 レフェラルサービスの強化

- (1) 現リンク集の更新及び追加・修正作業を行った。

【県内文化施設等との連携による情報の発信に努めます】

1 文化施設等による移動展示

- (1) 福島大学との連携で、「福島大学食農学類のめざすもの」を実施した。(5月10日～6月5日) *ロビー展示
- (2) 福島県文化財センター白河館との連携で、「はま・なか・あいづ再生史～遺跡に残された生活環境再建へのあしあと～」を実施した。(6月7日～7月3日)
- (3) 福島県歴史資料館との連携で、「奥会津の古文書」展を実施した。(10月4日～11月10日)
- (4) 伊達市保原歴史文化資料館との連携で、「福島の偉人 三浦謹之助」展を実施した。(11月12日～12月4日)

2 文化施設等との連携講座

- (1) 「ふくしまを知る連続講座」を開催した。
 - ・(第1回)「私の好きなふくしまの山」(講師：西岡義治氏)参加：120名(6月16日)
 - ・(第2回)「はま・なか・あいづ再生史～遺跡に残された生活環境再建へのあしあと～」参加：62名(6月23日) *福島県文化財センター白河館との連携
 - ・(第3回)「四季折々ふくしま ほんものの旅」参加：42名(9月15日)
*福島県観光交流課、福島県観光物産交流協会との連携
 - ・(第4回)「奥会津の古文書」参加：36名(10月27日) *福島県歴史資料館との連携
 - ・(第5回)「福島の偉人三浦謹之助博士」参加：43名(11月23日)
*伊達市保原歴史文化資料館との連携
- (2) 暮らしに役立つ講座を開催した。
 - ・「福島大学食農学類のめざすもの」参加：108人。(5月25日) *福島大学との連携
 - ・「福島県立医科大学吉田富三記念福島がん哲学外来10周年記念市民公開講座」参加：155人。(6月22日) *福島県立医科大学との連携
 - ・「衛生学・予防医学講座」参加：70人(7月6日) *福島県立医科大学との連携事業
 - ・法テラス福島との連携による県民講座
第1回「相続」参加：52人(8月4日)
第2回「消費者トラブル」参加：23人(11月24日)
第3回「特殊詐欺」参加：25人(2月9日)
- (3) 原國雄とその仲間たちとの共催により朗読会を実施した。
 - ・「初夏の朗読会」参加：150人(6月9日)
 - ・「冬の朗読会」参加：260人(12月8日)

3 実施事業の内容に合わせた関連資料の紹介

- (1) 県民講座「福島大学食農学類のめざすもの」(福島大学農学群食農学類)にあわせ、テーマに沿った書籍を展示した。(5月25日)
- (2) 第1回ふくしまを知る連続講座に合わせ所蔵資料を展示した。(6月13日～7月3日)
- (3) 福島県立医科大学講座「明るくがんと生きる」(福島県立医科大学)に合わせテーマに沿った書籍を展示した。(6月22日)
- (4) 「図書館×福島県文化財センター白河館(まほろん)こども講座 ようかい手長・足長と考える ヒトと自然のかかわり」で5冊紹介した。(6月23日)
- (5) 朝河貫一博士から学ぶふくしまの未来講演会に合わせ所蔵資料を展示した。(7月5日～7月31日)
- (6) 県民講座「あなたの相続が変わる!～相続の基本と相続法改正～」(法テラス福島)に合わせテーマに沿った書籍・雑誌を展示した。(8月4日)
- (7) 国際交流協会との連携事業「みんないっしょに世界のことばでおはなしかい」で、4冊紹介した。(8月17日)
- (8) 第3回ふくしまを知る連続講座に合わせ所蔵資料を展示した。(9月6日～10月2日)
- (9) Into the bookに合わせてものづくりに関する資料を展示・紹介した。(9月16日)
- (10) 県立美術館との連携事業「アートなおはなしかい」で6冊紹介した。(10月26日)
- (11) 県民講座(法テラス福島との連携事業)に合わせテーマに沿った書籍を展示した。(11月24日・2月9日)
- (12) 第5回ふくしまを知る連続講座に合わせ所蔵資料を展示した。(11月12日～12月4日)
- (13) 「クリスマスのおはなしかい みんないっしょに世界のことばでおはなしかい」(国際交流協会)に合わせ所蔵資料を紹介した。(12月7日)
- (14) 「はしれディーゼルきかんしゃデー」原画展で作者の資料を展示した。(2月20日～4月1日)

イ 東日本大震災等の記録を残します。

【「東日本大震災福島県復興ライブラリー」を継続し、
情報ニーズに応えた新たな活用を図ります】

1 資料収集の継続

- (1) 福島県に関連する資料を重点的に収集するため、市町村と連携した地域の資料情報の収集に努めた。
- (2) 資料群の充実に努めるため、既存資料で未購入のものにも収集範囲を遡及することとし、当該資料として震災前後における浜通り地方の空中写真を購入した。

2 「防災教育」「放射線教育」を支援するためのセット編成・活用

- (1) 平成30年度編成したセットの活用について、図書館総合展企画「全国の災害アーカイブ実施図書館」パネル展でパンフレットを設置し周知した。(9月19日)
- (2) 学校関係者が集うビブリオバトル県大会(11月9日)において、チラシを配布した。

ウ あらゆる人々が利用できる環境を整備します。

【高齢者や障がい者等の要配慮者に対するサービスの充実を図ります】

1 障がい者サービス体制の整備

- (1) サピエ図書館の運用を開始した。(2月)
- (2) 職員の研修を行った。
 - ・障がい者サービス研修会(日本図書館協会)に職員を1名派遣した。(6月5日～7日)
 - ・視覚障がい者のお話を聞く会(県立美術館)に職員12名参加(10月31日)
 - ・読書バリアフリー研究会に職員1名参加(11月3日)
 - ・図書館地区別(北日本)研修「高齢者サービスに求められる地域連携の在り方」に職員3名参加予定(11月13日)
- (3) 障がい者サービスの体制を整えた。
 - ・障がい者サービスに関する要綱を制定し、運用マニュアルを作成した。(2月)
 - ・図書館システムにおいて、サービスの実施に必要な変更を行った。(2月)
 - ・福島県立図書館対面朗読サービス実施要綱を改訂した。(12月)

2 適切な資料の充実(大活字本、さわる絵本、デジタル情報等)

- (1) 大活字本を収集し、大活字資料リストの改訂を行った。(34冊)

エ 県内のどこからでも利用できる環境を整備します。

【どこからでも利用できるサービスを推進します】

1 非来館者サービスの継続と強化
(1)平成30年度の利用状況等を参考に、協力車の巡回コースと回数を設定し、効率的な資料搬送形態の策定に努めた。
(2)非来館者サービスの広報手段について検討した。

オ 快適な利用空間を提供します。

【施設環境・設備環境の改善を行います】

1 ユニバーサルデザインに照らした環境づくり
(1) 公開図書室にトイレ案内を掲示した。
(2) 公開図書室に2台目の拡大読書器を配置した。
2 書庫の狭隘化に対する検討
(1) 喫煙の懸案事項であることについて、主務課との情報共有を図っている。
(2) 令和元年度の除籍(2,137冊)を実施した。(10月29日)
3 その他
(1) 閲覧機の相席利用がしやすいよう、利用机に仕切りテープを貼った。また、夏休み期間中には館内放送による注意喚起を行った。

(2) 「子どもたちの今と未来のための図書館」であるために

ア 学校図書館への支援と連携強化に努めます。

【児童図書研究室としての役割を踏まえ、選書情報を提供するため、幅広い資料の収集を目指します】

1 適切な選書情報の提供
(1) 学校図書館でも活用できる情報の提供を行うため、『児童図書研究室ニュース』を発行した。(4月/7月/7月号外/12月)
(2) 学校の教科書改訂に合わせ、国語教科書の参考資料の確認と収集を行った。

【学校司書や学校図書館ボランティアに対する研修会を実施します】

1 研修機会の提供(実施例:「初任者研修会」、「実務研修会」等)
(1) 福島県図書館・公民館図書室職員等初任者研修会において学校図書館部会を実施した。学校関係者の参加:26人(全体で73人)(5月24日)
(2) 福島県内図書館初任者職員実務研修を実施した。(全体では6人)(今年度は学校関係者の参加はなし)(6月20日~21日)
(3) 小学校の先生方、学校司書のための福島県立図書館見学会を実施した。参加:13人(8月2日)
(4) 福島県図書館・公民館図書室職員等専門研修会を実施した。参加:30人(12月6日)
(5) 福島市の図書館を育てる市民の会主催勉強会への講師を派遣した。参加:15名(11月26日)
2 県教育委員会等が行う学校図書館関係者向け研修等への職員派遣
* 学校関係者も参加する、以下の研修事業に職員を派遣した。
(1) としょかんのTOMO南相馬研修会(第33回講演会)(5月16日)
(2) 子ども読書活動推進講演会(須賀川市)(6月21日)
(3) 図書ボランティア講座(西郷村)(6月27日)
(4) 北会津地区学校図書館協議会夏季研修会(7月24日)
(5) 読書活動支援者育成事業相双地区研修会(7月25日)
(6) 令和の夏 読書の世界 再発見ツアー in ふくしま(8月6日)
(7) 福島県南高等学校図書館研究会研究協議会(10月8日)
(8) 福島大学人間発達文化学類(ブックトーク講義)(1月28日)

【学校図書館への資料を支援します】

1 「学校図書館図書活動支援セット」等の利用の推進
(1) 授業で活用するための「学校図書館図書活動支援セット」の利用促進に努めた。
(2) 学校図書館への資料支援事業再編のための検討を行っている。
(3) 県立図書館の資料支援事業をまとめた『県立図書館は図書館の支援を行っています!』を作成し、県内の図書館・公民館・学校(教育委員会)に対して周知した。(4月10日)

2 図書館未設置自治体の学校支援の推進		
<p>(1) 図書館未設置自治体（学校図書館）への移動図書館車の運行を継続実施している。令和元年度は23校に対して巡回している。</p> <p>(2) 移動図書館巡回時に、各町村教育委員会担当者および各教育事務所担当者と連絡、情報交換を行うことで、各教育委員会及び各教育事務所との連携強化に努めた。</p>		
指標 ③	【学校図書館活動支援セット貸出実績】 (基準値：平成28年度 18件/54セット)	* 令和元年度 17件/74セット (参考) 平成30年度 16件/44セット 平成29年度 14件/43セット

【避難自治体の学校再開に合わせ、学校図書館を支援します。】

1 運営相談の実施		
<p>(1) 当該自治体への移動図書館車の運行を継続実施し、資料の貸出しに加え学校図書館活動についての運営相談を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、浪江町、葛尾村、飯館村に継続巡回を実施した。また、令和元年度からは、新たに広野町にも巡回を開始した。 <p>(2) 浪江町の新図書館設置に当たり、状況の確認と運営相談を行った。(来館対応) (7月31日)</p>		
2 資料支援事業の最大限の活用		
<p>(1) 県立図書館の資料支援事業をまとめた『県立図書館は図書館の支援を行っています!』を作成し、県内の図書館・公民館・学校（教育委員会）に対して周知した。(4月10日) *再掲</p>		

イ 子どもが本に親しむ機会を提供します。

【子どもにとって利用しやすい環境を整備します】

1 読書や学習のサポート		
<p>(1) ビッグブック、大型紙芝居のリストを更新した。(4月)</p> <p>(2) 『令和元年度 福島県立図書館 見学のしおり』『ようこそ！福島県立図書館へ』の改訂を行った。(6月)</p> <p>(3) 学校等の依頼により図書館見学を行った。 *受入数17件 (654人)</p> <p>(4) ヤングアダルトへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 司書の仕事場見学を実施した。参加：6人 (4月30日) ・ 「YA (ヤングアダルト) の本」展示 (ロビー展示) を実施した。(7月5日～9月4日) ・ 「YA (ヤングアダルト) 文学」展示 (ロビー展示) を実施した。(10月4日～12月4日) ・ 『LITTLE BIG』を発行した。(6月/10月) <p>(5) ホームページの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ より利用しやすくするため、コンテンツの見直しを行っている。 ・ ホームページ (Twitterを含む) を活用し、毎月、時節に合わせた本や展示コーナーの紹介を実施している。 		
2 外部の協力による学習支援		
<p>(1) 県文化財センター白河館 (まほろん) と連携し、こども講座「ようかい手長・足長と考える ヒトと自然のかかわり」を実施した。参加：22人 (6月23日)</p> <p>(2) 県国際交流協会と連携し、「みんないっしょに世界のことでおはなしかい」を2回実施した。参加：17人 (8月17日) 参加：34名 (12月11日)</p> <p>(3) 県立美術館と連携し「アートなおはなしかい」を実施した。参加：33名 (10月26日)</p>		
指標 ④	【児童資料館外個人貸出冊数】 (基準値：平成28年度実績 56,597冊)	* 令和元年度 64,369冊 (参考) 平成30年度 64,046冊 平成29年度 62,041冊

【子どもを取り巻く大人（保護者等）への情報提供の環境を整備します】

1 情報支援
(1) 保護者向け利用案内を作成した。(3月) (2) 保護者や学校図書館の関係者たちが、子どもの本を選ぶ際に参考できるよう、「おはなしかい」の実施記録を活用するための資料作成のため、内容の精査を行っている。 (3) 資料検索をやすくするため、福島県関連情報の入力を随時行っている。 (4) 本に関する情報提供のため、「おかあさんもおとうさんも読んだ本」「どうぶつの絵本」等のミニ展示を17回行った。
2 研修の取り組み
(1) 要請により、職員の講師派遣を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・としょかんのTOMO南相馬研修会（第33回講演会）（5月16日）*再掲 ・子ども読書活動推進講演会（須賀川市）（6月21日）*再掲 ・図書ボランティア講座（西郷村）（6月27日）*再掲 ・北会津地区学校図書館協議会夏季研修会（7月24日）*再掲 ・読書活動支援者育成事業相双地区研修会（7月25日）*再掲 ・令和の夏 読書の世界 再発見ツアーin ふくしま（8月6日）*再掲 ・福島県南高等学校図書館研究会研究協議会（10月8日）*再掲 ・福島大学人間発達文化学類の講義に職員を派遣した。（1月28日）*再掲

(3) 「市町村（図書館・公民館等）を支える図書館」であるために

ア 市町村の図書館活動を支援します。

【資料の提供を行います】

1 市町村が必要とする資料の提供		
(1) 「協力貸出」の促進に取り組んだ。 (2) 市町村図書館からの資料の「リクエストサービス」の広報に努めた。 (3) 資料展示の「出張展示」に取り組んでいる。 <ul style="list-style-type: none"> ・「朝河貫一資料展示セット」の貸出を行った。 二本松市立二本松図書館（8月6日） 県立安積高等学校（8月19日） (4) 「児童図書研究用セット」の貸出を行った。本宮市しらさわ夢図書館		
指標 ⑤	【協力貸出冊数】 （基準値：平成28年度実績 4,955冊）	*令和元年度 4,386冊 （参考）平成30年度 5,171冊 平成29年度 4,538冊

【図書館活動への運営相談等を行います】

1 「協力車」事業の運行及び運用の見直し
(1) 平成30年度の利用状況等を参考に、協力車の巡回コースと回数を設定し、効率的な資料搬送形態の策定に努めた。 (2) 平成30年度に引き続き、新設および再開図書館への運営相談の強化を重点事項として協力車を運行した。 <ul style="list-style-type: none"> ・今年度に図書館を設置した石川町に協力車の巡回を行い運営相談を実施した。（5月22日/8月21日） ・今年度に図書館を設置した会津美里町に協力車の巡回を行い運営相談を実施した。（6月26日/9月25日） ・浪江町教育委員会の担当者と、新図書館の状況等についての運営相談を実施した。（7月31日） ・あたらふるさとホール（大玉村）図書室の資料整理に係る運営相談を行った。（12月20日） (3) 県立図書館の資料支援事業をまとめた『県立図書館は図書館の支援を行っています！』を作成し、県内の図書館・公民館・学校（教育委員会）に対して周知した。（4月10日）*再掲 (4) 令和元年東日本台風により浸水被害があった本宮市中央公民館図書室の復旧作業の支援を行った。

2	新設・新築の図書館への運営相談の充実
(1)	定期的な連絡機会を設けている。 <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度に図書館を設置した石川町に協力車の巡回を行い運営相談を実施した。(5月22日/8月21日) 令和元年度に図書館を設置した会津美里町に協力車の巡回を行い運営相談を実施した。(6月26日/9月25日) 会津美里町には、協力車の他、運営相談のため巡回した。(4月11日/8月8日) 浪江町の新図書館の状況と運営相談に対応した。(7月31日) 図書館を新設した浅川町、会津美里町、石川町の各図書館に年2回ずつ移動図書館を配車し貸出するとともに運営相談を行っている。
(2)	館長による面談を行った。 <ul style="list-style-type: none"> 石川町を訪問し、情報交換を行うとともに図書館の利用状況を視察した。(7月25日)
3	「福島県公共図書館協会実務担当者会議」の継続開催
(1)	「福島県公共図書館協会実務担当者会議」を開催した。参加：38人(6月7日)

【図書館未設置町村の読書活動を支援します】

1	読書活動に対する運営相談の実施
(1)	「移動図書館車」(図書館未設置を巡回対象)の巡回時に合わせ、運営相談業務を行った。令和元年度は23町村に対して実施している。
(2)	移動図書館車巡回以外にも運営相談の機会を設ける。 <ul style="list-style-type: none"> 館長が国見町を訪問し、生涯学習課長と図書館設置の話し合いをした。(7月2日) 副館長が中島村を訪問し、生涯学習課長と図書館設置の話し合いをした。(6月13日) 企画管理部長が柳津町を訪問し、公民館長と情報交換をした。(10月4日) あたらふるさとホール(大玉村)図書室の資料整理に係る運営相談のため職員を派遣した。(12月20日)
2	図書活動推進のための講師派遣
(1)	国見町教育委員会「国見町子ども司書講座」(6月22日)
(2)	西郷村教育委員会「図書ボランティア養成講座」(6月27日)

イ 県内全体のネットワーク体制の強化を図ります。

【資料の物流体制を推進します】

1	県内図書館間の物流体制の整備
(1)	「協力車」事業の推進に取り組んでいる。 <ul style="list-style-type: none"> 協力貸出の搬送 460冊(平成30年度 306冊) 市町村間相互貸借資料の搬送 1,255冊(平成30年度 339冊) 遠隔地返却資料の回収 4,955冊(平成30年度 2,571冊) 学校図書館(協力貸出)の資料回収 6件/38冊(平成30年度 2件/17冊) 学校図書館活動支援セットの搬送 33セット(平成30年度 6セット) 受取館指定資料の搬送 214冊(平成30年度 74冊) ふくふくネット(遠隔地返却資料搬送) 1,772冊(平成30年度 1,062冊)
(2)	宅配を活用した「協力貸出」の推進に取り組んでいる。 <ul style="list-style-type: none"> 件数3927,冊(平成30年度3905,冊)
(3)	「移動図書館車」事業を活用した物流体制を強化している。(公民館を主に) <ul style="list-style-type: none"> 搬送件数 10回/29セット(平成30年度 6回/13セット)
(4)	「図書館ポータル」内のILL機能の運用調整に取り組んでいる。 <ul style="list-style-type: none"> 県公共図書館協会実担当者会議において、現在試行している「ILL機能(相互貸借支援機能)」を本稼働した。(6月7日)

【資料の保存協力について検討します】

1	「デポジットライブラリー(共同保存図書館)」機能の実施に向けた県内関係機関との調整
(1)	「福島県公共図書館協会実務担当者会議」を開催し、情報交換のテーマの一つとした。参加者：38人(6月7日)
(2)	『現行購入雑誌保存年限及び保存指定館、現行受入新聞一覧』の継続作成を行い、各公共図書館に送付した。(10月16日)

【協力レファレンスを積極的に受け付けます】

1 「協力レファレンス」についての周知の強化
(1) 広報委員会で、各種データデータベースの活用を含めた周知の強化について検討を行った。

【市町村立図書館相互の連携・協力体制の基盤を整備します】

1 「福島県公共図書館協会実務担当者会議」の継続開催
(1) 「福島県公共図書館協会実務担当者会議」を開催した。(6月7日)
2 福島県公共図書館協会の「地区別連絡会」への参加
(1) 会津・南会津地区連絡会に参加した。(9月17日)
3 「図書館ポータル」の活用
(1) 県公共図書館協会実担当者会議において、現在試行している「ILL機能(相互貸借支援機能)」を本稼働した。(6月)*再掲

ウ 県内図書館関係職員の研修をサポートします。**【研修機会を提供します】**

1 研修機会(場所を含めた)の提供(実施例:「初任者研修会」「専門研修会」等)
(1) 福島県図書館・公民館図書室職員等初任者研修会を実施した。参加:72人。(5月24日)
(2) 福島県内図書館初任者職員実務研修を実施した。参加:6人(6月20日~21日)
(3) 福島県図書館・公民館図書室職員等専門研修会を実施した。参加:48人(12月6日)
(4) 図書館地区別(北日本)研修を実施した。参加者:48人(11月12日~14日)
2 要請による職員派遣
(1) としょかんのTOMO南相馬研修会(第33回講演会)(5月16日)*再掲
(2) 子ども読書活動推進講演会(須賀川市)(6月21日)*再掲
(3) 音訳奉仕員研修会(点字図書館)(6月25日)
(4) 図書ボランティア講座(西郷村)(6月27日)*再掲
(5) 北会津地区学校図書館協議会夏季研修会(7月24日)*再掲
(6) 読書活動支援者育成事業相双地区研修会(7月25日)*再掲
(7) 令和の夏 読書の世界 再発見ツアーin ふくしま(8月6日)*再掲
(8) 福島県学校図書館研究会(9月12日)*再掲
(9) 福島県南高等学校図書館研究会研究協議会(10月8日)*再掲
(10) 福島市の図書館を育てる市民の会主催勉強会への講師を派遣した。(11月26日)

エ 情報拠点として、図書館運営に必要な情報を収集し提供します。**【福島県立図書館情報ネットワーク事業】を維持し強化を図ります】**

1 図書館システム環境の維持
(1) システムの環境維持を図るため、現契約ベンダーと現行システム延長に伴う打合せを継続的に実施している。
(2) 現契約ベンダーと当館のシステム運営委員会による打ち合わせを継続的に行った。
(3) ふくしま教育総合ネットワークシステム(FACE)の運用変更に伴う説明会への参加と運用業者・部署との調整を行った。
2 「図書館ポータル」の活用
(1) 県公共図書館協会実担当者会議において、現在試行している「ILL機能(相互貸借支援機能)」を本稼働することとした。(6月)
3 新システムへの更新作業に合わせたWebサービスの評価と見直し
(1) 仕様(事務局案)を基に見積書を各ベンダーから収受、予算要求を行った。

【図書館システム及びLANシステムの更新作業を遂行します】

(1) 年度当初に各図書館等から意見を聴取し、仕様書案を策定した。
(2) 仕様(事務局案)を基に見積書を各ベンダーから収受し、予算要求事務を行った。

オ 避難自治体の図書館活動を支援します。

【資料の提供と運営相談を行います】

1 資料支援事業の実施
(1) 新たに広野町を加えた「移動図書館車」事業を実施した。 巡回先：浪江町/飯舘村/富岡町/楡葉町/川内村/葛尾村/大熊町/広野町 (2) 県立図書館の資料支援事業をまとめた『県立図書館は図書館の支援を行っています!』を作成し、県内の図書館・公民館・学校（教育委員会）に対して周知した。（4月10日）*再掲
2 運営相談の実施
(1) 運営相談のため、要請及び状況に応じて職員を派遣した。 ・平成30年度に再オープンした富岡町図書館に巡回し、課題について運営相談を実施した。（6月19日/9月11日） ・再オープンを計画している浪江町図書館（教育委員会）に巡回し、再開に向けた運営相談を実施した。（7月17日） (2) 浪江町の新図書館設置に当たり、運営相談を行った。（来館対応） （7月31日）
3 定期的な情報収集
(1) 双葉郡4町について、図書館活動の状況を調査した。（7月9日/10月11日）

【他機関との連絡窓口として情報の収集・提供に努めます】

1 東日本大震災支援団体との連携
(1) 日本図書館協会（東日本大震災対策委員会）が行う情報交換会に職員を派遣した。（9月）

(4) 「ふくしまを知ることができる図書館」であるために

ア ふくしまの文化を伝えていくため、地域資料を収集・保存し、提供します。

【ふくしまに関する情報を広く収集・保存し、提供します】

1 ふくしまに関する情報の収集
(1) 資料寄贈を呼びかけるチラシを館内に常設した。 (2) 福島県ゆかりの作家（県外在住者）の未購入図書を調査・確認中。
2 ふくしまに関する情報の保存
(1) 「郷土誌（飯舘石橋村）」等8点のデジタル化と城郭絵図等6点のデジタル化を行った。
3 ふくしまに関する情報の提供
(1) 『福島県郷土資料情報』を発行した。（2月） (2) 『福島県図書館報あづま』を発行した。（2月）

【行政資料等の非販売資料を収集します】

1 地域行政資料収集のための広報の強化（実施例：県庁へのメール寄贈依頼、依頼の効果検証、県庁各部署への定期訪問の実施、市町村役場への行政資料寄贈依頼等）
(1) 「福島県行政資料コーナー」の紹介チラシを改訂し、グループウェア（県庁のネットワーク）に掲示するとともに館内に常設した。 (2) 資料寄贈を呼びかけるチラシを館内に常設した。
2 市町村資料の収集ルート確保（実施例：図書館・公民館を通じた資料収集等）
(1) 各市町村に対して、資料寄贈の依頼文書を発送した。（2月）

イ 資料のデジタル化による保存と提供を推進します。

【地域資料・貴重資料のデジタル化事業を計画的に進めます】

1 デジタル化事業の推進
(1) 「郷土誌（飯舘石橋村）」等8点のデジタル化と城郭絵図等6点のデジタル化を行った。* (2) 1900年以前に発行された資料から、デジタル化の対象資料の検証を行っている。 (3) マイクロフィルムに収録されていない『福島新聞』等の4タイトルについて検討している。

【「デジタルライブラリー」(HP)を利用しやすくします】

1 ホームページの改善

- (1) 情報構想化協議書(図書館案)の中に明記した。

ウ Web環境を活用した情報の発信と共有化を推進します。

【ふくしまの情報を発信していきます】

1 インターネットによる情報発信

- (1) 「ふくしまについて調べるためのデジタル化資料」を公開した(7月)
(2) 「県内市町村史」の白沢村、三春町、飯野町の入力を行い、白沢村、飯野町の目次情報を更新した。

2 Web環境を活用した新たな情報提供の体制の検討

- (1) 著作権の切れたデジタル資料をWebOPACで検索・公開できるシステム仕様を策定した。
(2) Webサイト作成ツールの更新とWebデザイン変更により、利用者に必要な情報が探しやすいWebサイトの構築に向けてベンダーと協議を行った。(継続)

【SNSを活用した情報発信をしていきます】

1 SNSを活用した情報発信

- (1) Twitterによる広報活動を本稼働した。(4月1日)
(2) 館内広報委員会において、Twitterの運用について協議した。(10月1日)
*ツイート数:224件 *フォロワー数:130件

福島県立図書館アクションプラン（第3次） 令和2年度実施事業結果報告シート
（令和2年度上半期9月30日現在）

※一部行事等については10月以降のものも記載しています。

(1) 「県民のための図書館」であるために

ア 県民の知りたい情報ニーズに応えます

【県民のニーズに照らした多面的資料の収集と提供を行います】

1	県民のニーズに照らした多面的な資料の計画的な収集	
	(1) 偏りの無い蔵書構成と多面的な資料の収集 ・「福島県立図書館資料基本要綱Ⅳ資料別収集方針」（以下「収集方針」という。）に基づき、資料収集調査委員会で、特定の分野に偏らないバランスの良い選書に努め、計画的に資料を購入している。 ・リクエスト制度により県民各世代のニーズに応えている。(67件/67冊) (2) 出版情報の迅速な入手 ・出版社からの情報のほか、新聞・雑誌等の掲載情報を確認し選書に反映している。	
	2 市町村立図書館を支えるための資料収集	
	(1) 地域づくりや町おこし、6次化等地域活性化のための資料収集に努めている。 (2) 基本図書・全集・参考図書など市町村のバックアップ資料を収集している。 (3) 市町村からの購入リクエストに応じている。(14件14冊)	
	3 県民の暮らしに役立つ資料の充実を図るため「県民の暮らし応援文庫」の充実	
	(1) 福島ロータリークラブ(30万円・8月)教育活動支援 (161冊) (2) 大槻電設工業(株) (10万円・9月) 育児活動支援 (69冊) (3) 一般財団法人ふくしま未来研究会 (100万円・11月) 全テーマ(540冊)	
指標 ①	【年間貸出総冊数】 (基準値：平成28年度 176,296冊)	＊平成30年度 199,155冊 ＊104,734冊 (9月末実績) ＊令和元年度 201,181冊 ＊105,567冊 (9月末実績) ＊令和2年度 88,746冊 (9月末実績)

【レファレンス機能の充実を図ります】

1	レファレンス資料の充実
	(1) 収集方針に基づき資料収集調査委員会で計画的にレファレンス資料を購入している。
	2 レファレンス環境の整備
	(1) パスファインダーの新規作成と更新に取り組んでいる。 ・「「終活」について」発行(4月15日) ・「今こそ伝えたい命の大切さ 闘病記」(更新)発行(6月30日) ・「地域の出版文化を支える 福島民報出版文化賞」(更新)発行(8月7日) ・「病気と労働を考える」(更新)発行(10月13日) (2) 各種データベースの充実に努めている。 ・地元新聞データベースのデータの校正(2,389件)を行った。

3 司書のレファレンス技術の向上

- (1) 「レファレンスマニュアル基礎編」と「調査相談カウンターマニュアル」を統合し、項目を改訂・追加し、「調査相談カウンターマニュアル」の改訂版を作成した。
- (2) 定期的に職員研修を実施している。
 - ・福島県歴史資料館の古文書講座（全4回）に職員2名を派遣した。
（7月4日・8月9日・9月5日・10月11日）
 - ・「福島の図書館」について学ぶ機会として館内研修を行った。参加30名（9月3日）
 - ・法令情報総合データベース（当館契約の外部データベース）の活用研修を行った。参加30名（10月1日）、
 - ・初任者を対象にした「調査・相談カウンター業務」についての研修を実施した。
 - ・行事に合わせておはなしかいの研修をした。参加3名（3回）

指標 ②	【年間レファレンス件数】	*平成30年度 11,949件	*6,944（9月末実績）
	（基準値：平成28年度 11,473件）	*令和元年度 12,938件	*6,815（9月末実績）
		*令和2年度	4,848件（9月末実績）

【大学図書館等研究機関と連携し、専門的資料（情報）を提供します】

1 「福島県内大学図書館連絡協議会」での連携強化（相互貸借の促進）

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大予防のため、協議会総会は書面開催とした。
（6月25日～7月6日）

2 「ふくふくネット」の促進

- (1) 新型コロナウイルス対策により大学図書館が一般開放していないため、県立図書館を経由した利用が増加している。
 - ・福島大学から借受した資料数 179冊（9月末） 11冊（昨年度同月末まで）
 - ・県立医科大学から借受した資料数 9冊（9月末） 6冊（昨年度同月末まで）

3 レフェラルサービスの強化

- (1) 福島県立図書館ホームページのリンク集を更新、新ページを追加した。

【県内文化施設等との連携による情報の発信に努めます】

1 文化施設等による移動展示

- (1) 「まほろん移動展示 ふくしま鉄ものがたり」福島県文化財センター白河館
（6月5日～7月1日）
- (2) 「描かれた江戸時代の伊達郡」福島県歴史資料館（11月6日～12月2日）

2 文化施設等との連携講座

- (1) 講演会「朝河貫一の歴史学の現代的意義」（講師：甚野尚志氏）を開催した。
参加：88名（8月10日）
- (2) 「ふくしまを知る連続講座」を開催した。
 - （第1回）「古関裕而 ～青春時代の福島と仲間たち～」参加66人（8月30日）
 - （第2回）「江戸時代の絵図でつなぐ今と昔」開催予定（11月28日）

3 実施事業の内容に合わせた関連資料の紹介

- ・「まほろん移動展示 ふくしま鉄ものがたり」に合わせて鉄関係の資料を展示した。(6月5日～7月1日)
- ・「ふくしまの花展示」事業に合わせて園芸、フラワーアレンジメントの資料を展示した。(7月26日～8月2日)
- ・講演会「朝河貫一の歴史学の現代的意義」にあわせ関連資料を展示した。(8月7日～9月2日)
- ・第1回ふくしまを知る連続講座に合わせ「古閑裕而展」で関連資料を展示した。(2月20日～12月2日)
- ・「アートなおはなしかい」で関連資料を紹介した。(8月8日)
- ・「おはなしかい(安達太良山は生きている)」で関連資料を紹介した。(9月13日)

イ 東日本大震災等の記録を残します。

【「東日本大震災福島県復興ライブラリー」を継続し、
情報ニーズに応えた新たな活用を図ります】

1 資料収集の継続

- (1) 福島県に関連する資料を重点的に収集するため、市町村と連携した地域の資料情報の収集に努めた。

2 「防災教育」「放射線教育」を支援するためのセット編成・活用

- (1) 「震災展示コーナー」において、出張展示用セット③「伝える。東日本大震災・原発事故の記憶」⑥「再生可能エネルギーを知る」展示広報している。(4月～)

ウ あらゆる人々が利用できる環境を整備します。

【高齢者や障がい者等の要配慮者に対するサービスの充実を図ります】

1 障がい者サービス体制の整備

- (1) サピエ図書館運用を開始した。
 - ・運用は開始したが利用実績はなし。
 - ・利用の向上を図る(事業周知)ための広報資料を作成中
 - ・ホームページの活用については、令和3年1月の図書館システムの更新に併せ実施することで準備を開始した。
- (2) 職員の研修を行う。
 - ・国立国会図書館及び(公社)日本図書館協会が実施する障がい者サービス研修受講予定

2 適切な資料の充実(大活字本、さわる絵本、デジタル情報等)

- (1) 大活字資料リストの改訂を行った。(6月)
- (2) 大活字資料の充実を図った。(102冊購入)

エ 県内のどこからでも利用できる環境を整備します。

【どこからでも利用できるサービスを推進します】

1 非来館者サービスの継続と強化

- (1) 県内図書館の新型コロナウイルス対応による休館状況を調査して県立図書館のホームページで広報を行った(4月4日から7月7日)
- (2) 県立図書館の遠隔地サービスとツイッター紹介のチラシカードを新しく作成し、県内図書館、公民館、大学図書館に設置した。
- (3) 新型コロナウイルス対応により資料宅配サービスと受取館指定サービスが増加している。
 - ・資料宅配 23件 89冊(9月末時点) 8件 36冊(昨年度9月末時点)
 - ・受取館指定 216件 801冊(9月末時点) 174件 615冊(昨年度9月末時点)

オ 快適な利用空間を提供します。

【施設環境・設備環境の改善を行います】

1 ユニバーサルデザインに照らした環境づくり
(1) 館内利用のためのブックカートを4台設置し、高齢者や子ども連れの方の利用の便を図った。(7月)
2 書庫の狭隘化に対する検討
(1) 狭隘化対策の検討を行い、当館としての対応策を取りまとめるとともに予算要求に向け主務課との協議を行った。(7月)
3 その他
(1) コロナウイルス感染症への対応として、館内の消毒や換気、空間を空けた座席の配置等を行った。 (2) 「新型コロナウイルス感染拡大防止のための行事ガイドライン」を作成し、行事を実施した。(7月1日作成 10月15日改定)

(2) 「子どもたちの今と未来のための図書館」であるために

ア 学校図書館への支援と連携強化に努めます。

【児童図書研究室としての役割を踏まえ、選書情報を提供するため、幅広い資料の収集を目指します】

1 適切な選書情報の提供
(1) 中学校の教科書改訂にあわせた、国語教科書の参考資料の確認・収集している(随時) (2) 授業で活用できる資料を重点的に選定している(毎月) (3) 福島県教育センターに相談し、新セットのテーマを検討している。

【学校司書や学校図書館ボランティアに対する研修会を実施します】

1 研修機会の提供(実施例:「初任者研修会」、「実務研修会」等)
(1) 学校向け図書館見学会を実施した。参加:11人(8月12日) (2) 福島県図書館・公民館図書室職員等初任者研修会において学校図書館部会を実施した。参加:57人(内学校図書館部会参加:14人)(10月9日)
2 県教育委員会等が行う学校図書館関係者向け研修等への職員派遣
(1) 読書活動支援者育成事業会津地区研修会(会津若松市)で研修講師を派遣した。(9月26日)

【学校図書館への資料を支援します】

1 「学校図書館図書活動支援セット」等の利用の推進			
(1) 学校図書館活動支援セットを小学校(鮫川/福田)、中学校(鮫川)、高校(福島北/あさか開成)に提供した。 (2) 「児童図書研究室ニュース」(号外)「夏休みの友」関連資料情報を発行した(7月) (3) 中学校の国語教科書等に取り上げられている資料の把握・リストの作成、収集をしている。(随時)			
2 図書館未設置自治体の学校支援の推進			
(1) 移動図書館車は申請のあった未設置町村23町村に対し実施している。(そのうち学校は21校に巡回している)			
指標③	【学校図書館活動支援セット貸出実績】 (基準値:平成28年度 18件/54セット)	*平成30年度 16件 44セット *令和元年度 17件 74セット *令和2年度	*14件25セット(9月末実績) *15件67セット(9月末実績) 5件13セット(9月末実績)

【避難自治体の学校再開に合わせ、学校図書館を支援します。】

1 運営相談の実施
(1) 檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、浪江町、葛尾村、飯館村、広野町への巡回を実施している。うち、学校に直接巡回しているのは川内村、大熊町、浪江町、葛尾村、飯館村の5町村。
2 資料支援事業の最大限の活用
(1) 移動図書館の巡回時に資料貸出制度の周知を行うとともに利用事例を紹介している。

イ 子どもが本に親しむ機会を提供します。

【子どもにとって利用しやすい環境を整備します】

1 読書や学習のサポート			
(1) 企画展「読み継がれる絵本 ～出版から50年を経た絵本～」を実施した。 (4月3日～6月3日)			
(2) ロビー展示「YA (ヤングアダルトの本)」を実施した。(7月3日～9月2日)			
(3) システム更新にあわせて、ホームページの見直しを行った。			
(4) Twitterで本と展示コーナーの紹介をした。(58回)			
(5) 乳幼児と保護者を対象とするちいさなおはなしかいを実施した。 参加2人(7月～毎月)			
(6) 職場体験実習として、福島県立聴覚支援学校高等部の生徒1名の受入を行った。(9月8日～11日)			
(7) 図書館見学(福島市立森合小学校2年生)を受け入れた。参加:82人(9月13日)			
2 外部の協力による学習支援			
(1) 県立美術館と連携し、アートなおはなしかいを実施した。参加:12人(8月8日)			
(2) 磐梯山噴火記念館と連携し、おはなしかい「安達太良山は生きている」を実施した。参加:15人(9月13日)			
指標④	【児童資料館外個人貸出冊数】 (基準値:平成28年度実績 56,597冊)	*平成30年度 64,046冊 *令和元年度 64,369冊 *令和2年度	*34,846冊(9月末実績) *32,758冊(9月末実績) 27,589冊(9月末実績)

【子どもを取り巻く大人(保護者等)への情報提供の環境を整備します】

1 情報支援
(1) テーマ展示をし貸出した。 ・ミニ展示「おいしいえほん」(4月3日～6月3日) ・企画展示「おかあさんもおとうさんも読んだ絵本」(4月3日～6月3日) ・ミニ展示「かずとかたちのえほん」(6月5日～7月1日) ・ミニ展示「てんきのえほん」(6月5日～7月1日) ・ミニ展示「すずしいえほん」(7月3日～9月2日) ・ミニ展示「かがくのとも」(7月3日～8月5日) ・ミニ展示「こどものとも」(8月7日～9月2日) ・ミニ展示「やさい・くだものの絵本」(9月4日～9月30日) ・ミニ展示「日本のむかしばなし 世界のむかしばなし」(9月4日～9月30日)
(2) おはなしかいの記録を活用したブックガイドの作成等について検討中である。
2 研修の取り組み
(1) 要請により、職員の講師派遣を行った。 ・読書活動支援者育成事業会津地区研修会(会津若松市)(9月26日)

(3) 「市町村（図書館・公民館等）を支える図書館」であるために

ア 市町村の図書館活動を支援します。

【資料の提供を行います】

1 市町村が必要とする資料の提供			
(1) 「協力貸出」の促進に取り組んでいる。 協力貸出件・冊数 422件・1,943冊			
(2) 「世界的歴史学者朝河貫一博士の2020年記念書簡展示・講演会」 (NPO法人地域のみんなのチカラ主催) に写真パネルを貸出(9月)			
指標 ⑤	【協力貸出冊数】 (基準値：平成28年度実績 4,955冊)	*平成30年度 5,171冊 *令和元年度 4,386冊 *令和2年度	*2,681冊 (9月末実績) *2,401冊 (9月末実績) 1,943冊 (9月末実績)

【図書館活動への運営相談等を行います】

1 「協力車」事業の運行及び運用の見直し	
(1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月19日から5月15日の23日間臨時休館のため、休館中に実施できなかった2コースについて5月21日と28日に臨時巡回を行った。	
2 新設・新築の図書館への運営相談の充実	
(1) 国見町を訪問し新設図書館立ち上げの支援を行った。(6月16日、7月22日)	
(2) 国見町図書館開設検討委員に職員を派遣した。(6月29日、8月24日)	
3 「福島県公共図書館協会実務担当者会議」の継続開催	
(1) 「福島県公共図書館協会実務担当者会議」を開催予定である。(12月4日)	

【図書館未設置町村の読書活動を支援します】

1 読書活動に対する運営相談の実施	
(1) 「移動図書館車」(図書館未設置を巡回対象)と「協力車」の巡回時に合わせ、運営相談業務を行った。	
2 図書活動推進のための講師派遣	
(1) 西郷村で図書ボランティア養成講座「レファレンス」の講師を派遣した。(8月19日)	

イ 県内全体のネットワーク体制の強化を図ります。

【資料の物流体制を推進します】

1 県内図書館間の物流体制の整備			
(1) 「協力車」事業の推進に取り組んでいる。			
・協力貸出の搬送	350冊		(昨年度末実績 460冊)
・市町村間相互貸借資料の搬送	1,114冊		(昨年度末実績 1,255冊)
・遠隔地返却資料の回収	2,474冊		(昨年度末実績 4,955冊)
・学校図書館(協力貸出)の資料回収	2件/97冊		(昨年度末実績 6件/38冊)
・学校図書館活動支援セットの搬送	11セット		(昨年度末実績 33セット)
・受取館指定資料の搬送	200冊		(昨年度末実績 214冊)
・ふくふくネット(遠隔地返却資料搬送)	320冊		(昨年度末実績 1,772冊)
(2) 宅配を活用した「協力貸出」の推進に取り組んでいる。			
・1,693冊(昨年度 2,538冊)			
(3) 「移動図書館車」事業を活用した物流体制を強化している。(公民館を主に)			
・学校図書館活動支援セットの搬送件数	1回 1セット		
・相互貸借の搬送件数	4件 20冊		
・遠隔地返却の搬送件数	1件 3冊		
(4) 新ILLシステムについて、機能設計の打ち合わせを行った。			

【資料の保存協力について検討します】

1 「デポジットライブラリー（共同保存図書館）」機能の実施に向けた県内関係機関との調整
(1)『現行購入雑誌保存年限及び保存指定館、現行受入新聞一覧』の継続作成を行い、各公共図書館に送付した。(10月1日)

【協力レファレンスを積極的に受け付けます】

1 「協力レファレンス」についての周知の強化
(1) 教育庁メルマガの図書館アラカルトでデータベースの活用法やデータベースの種類について紹介をした。(8月、9月)

【市町村立図書館相互の連携・協力体制の基盤を整備します】

1 「福島県公共図書館協会実務担当者会議」の継続開催
(1)「福島県公共図書館協会実務担当者会議」を開催予定である。(12月4日開催予定)
2 福島県公共図書館協会の「地区別連絡会」への参加
(1)会津・南会津地区公共図書館・公民館図書室等連絡会に参加した(9月28日)
3 「図書館ポータル」の活用
(1)市町村図書館間の簡易なファイル交換や機能強化したILL支援システムを備えた図書館ポータルの構築を行っており、令和3年1月から稼働する予定である。

ウ 県内図書館関係職員の研修をサポートします。

【研修機会を提供します】

1 研修機会（場所を含めた）の提供（実施例：「初任者研修会」「専門研修会」等）
(1)福島県内児童図書担当職員研修会（福島県公共図書館協会事業）を実施した。 テーマ：絵本の紹介文の書き方 参加：26人（9月11日）
(2)福島県図書館・公民館図書室職員等専門研修会を実施した。 テーマ：地域資料サービスの実践 参加：41人（9月18日）
(3)福島県図書館・公民館図書室職員等初任者研修会を実施した。 参加：57人。(10月9日)
(4)福島県内図書館初任者職員実務研修を実施した。参加：4人。(10月29日～30日)
(5)図書館研究集会（福島県公共図書館協会事業）を実施した。 テーマ：危機管理 参加：44人（11月6日）
2 要請による職員派遣
(1)読書活動支援者育成事業会津地区研修会（会津若松市）（9月26日）*再掲

エ 情報拠点として、図書館運営に必要な情報を収集し提供します。

【福島県立図書館情報ネットワーク事業」を維持し強化を図ります】

1 図書館システム環境の維持
(1)ふくしま教育総合ネットワークシステム（FACE）の運用変更に伴うベンダーとの調整を行っている。
(2)現システムベンダーと新システムベンダー間の適切な引継ぎに向けた調整を行っている。
2 「図書館ポータル」の活用
(1)市町村図書館への聞き取り調査を反映させたILL支援システムについて調整した。
3 新システムへの更新作業に合わせたWebサービスの評価と見直し
(1)Webサイトの再構築について開発設計をおこなった。

【図書館システム及びLANシステムの更新作業を遂行します】

(1)新しい図書館システム及びLANシステムの構築に向けて、新システムベンダーと開発設計をおこなった。

オ 避難自治体の図書館活動を支援します。

【資料の提供と運営相談を行います】

1 資料支援事業の実施
(1) 移動図書館車は8町村に対し継続実施している。 (浪江町/飯舘村/富岡町/楡葉町/川内村/葛尾村/大熊町/広野町)。 (2) 富岡町図書館に対しては相互貸借も実施している。
2 運営相談の実施
(1) 浪江町 (図書館再開準備中) に対して、運営相談を行った。(6月17日) (2) 大熊町 (教育委員会) と情報交換を行った。(6月17日)

【他機関との連絡窓口として情報の収集・提供に努めます】

1 東日本大震災支援団体との連携
(1) 日本図書館協会等と情報収集・提供を行っている。

(4) 「ふくしまを知ることができる図書館」であるために

ア ふくしまの文化を伝えていくため、地域資料を収集・保存し、提供します。

【ふくしまに関する情報を広く収集・保存し、提供します】

1 ふくしまに関する情報の収集
(1) 未購入図書をリストアップし、購入の優先順位を検討中である。
2 ふくしまに関する情報の保存
(1) 「茂庭村文書」36点、「福島県管内道路分類縮図」「陸奥国白川二本松三春領絵図 一」の2点についてのデジタル化が完了次第掲載の準備をすすめる。
3 ふくしまに関する情報の提供
(1) 『福島県郷土資料情報』を発行予定。 (2) 『福島県図書館報あづま』を発行予定。

【行政資料等の非販売資料を収集します】

1 地域行政資料収集のための広報の強化 (実施例: 県庁へのメール寄贈依頼、依頼の効果検証、県庁各部署への定期訪問の実施、市町村役場への行政資料寄贈依頼等)
(1) 既存の広報手段による広報をしたところ、一定の効果があった。新規に実施した県庁各部署への定期訪問は効果がなかった。
2 市町村資料の収集ルート確保 (実施例: 図書館・公民館を通じた資料収集等)
(1) 各市町村に対して資料寄贈の依頼文書を発送したが、市町村図書館、公民館を通じた寄贈数には変化がなかった。

イ 資料のデジタル化による保存と提供を推進します。

【地域資料・貴重資料のデジタル化事業を計画的に進めます】

1 デジタル化事業の推進
(1) 「茂庭村文書」36点、「福島県管内道路分類縮図」「陸奥国白川二本松三春領絵図 一」の2点についてのデジタル化作業中である。

【「デジタルライブラリー」(HP) を利用しやすくします】

1 ホームページの改善
(1) 現在の情報提供環境を、新システムにおいても継続実施することとしている。

ウ Web環境を活用した情報の発信と共有化を推進します。

【ふくしまの情報を発信していきます】

1 インターネットによる情報発信
(1)追加修正項目を検討している。
2 Web環境を活用した新たな情報提供の体制の検討
(1)Webサイト作成ツールの更新とWebデザイン変更により、利用者が必要とする情報を探しやすいWebサイトの構築に向けてベンダーと設計開発を行った。

【SNSを活用した情報発信をしていきます】

1 SNSを活用した情報発信
(1) 継続的な発信を行うため、1週間交代で各班でツイートを行う取り組みを行った。 (2) 県立図書館の遠隔地サービスとツイッター紹介のチラシカードを新しく作成し、 県内図書館、公民館、大学図書館に設置した。 ツイート数：182件 フォロワー数：270件

「福島県立図書館アクションプラン（第4次）」策定について

1. 策定期期の変更

新型コロナウイルス感染症の影響による社会の変化は、新たな生活様式など県民生活にも大きな変化をもたらし、オンラインでの情報ニーズが高まるなど図書館に求められるサービスやそのあり方にまで影響を及ぼすこととなりました。

新たなアクションプランの策定に当たっては、現行3次プラン策定時以後に顕在化した社会の変化等を取り込んでいくこととなりますが、特に、この新型コロナウイルス感染症のもたらした影響は大きく広範にわたるものとなっております。新たなプランの策定にはコロナへの対応という視点を加えた現行プランの全体的な評価を踏まえたうえで臨む必要があり、そのための時間も必要であることから、令和3年3月としていた新プランの策定期期を変更し、令和4年3月に延期したいと考えております。

なお、「福島県総合計画」及び「第7次福島県総合教育計画」についてもコロナ禍の影響等を踏まえ同様に策定期期を延期することとしております。

2. 「福島県立図書館アクションプラン（第4次）」策定に向けて

「アクションプラン（第4次）」を策定するのは令和3年度になりますが、「アクションプラン（第3次）」の期間は、平成30年度～令和2年度になっています。そこで、令和3年度は「アクションプラン（第3次）」を継続しつつ、「アクションプラン（第4次）」を実施に移すための準備をします。

タイムスケジュール

	第3次アクションプラン	第4次アクションプラン	第7次福島県総合教育計画
令和2年度	実施	策定準備 ↓ アンケート調査実施	↓
令和3年度	実施	第3次の総括 ↓ 策定	↓
令和4年度		実施	策定 ↓ 実施

3. 次期プランに向けた県立図書館の課題

「アクションプラン（第4次）」を策定するために評価・課題の検討を行っています。この課題については、図書館職員で共有し、新アクションプランの策定につなげてまいります。

現在のところ、上記の新型コロナウイルス感染症への対応に加え、読書バリアフリー法の制定（令和元年）や頻発する台風等自然災害への対応、新学習指導要領の全面実施（令和2年度小学校、令和3年度中学校）への対応や第四次福島県子ども読書活動推進計画（令和2年2月策定）の実践などを想定しております。

